



ガラス乾板：安養寺第3 経塚出土 瓦経「願文」岡山理科大学蔵

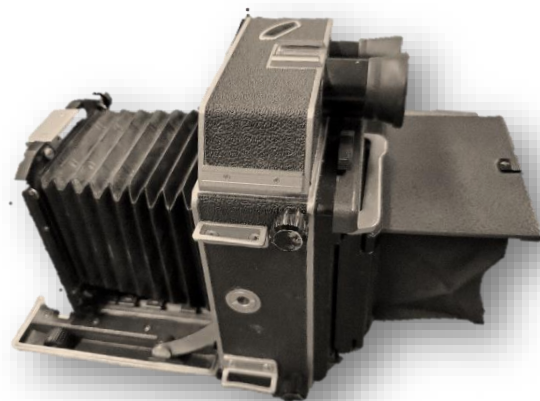


ガラス乾板：安養寺第3 経塚出土 瓦経 岡山理科大学蔵

※ ガラス乾板は毎週展示替えを行います。

「瓦^{がきょう}経」とは、粘土の板に経文を刻み焼き固めた経典のひとつです。なかでも備中倉敷の古刹 朝原山安養寺の裏山で発見された経塚は、経典を遙か未来に伝えるために土中に瓦経を埋納しており、瓦経の経塚として日本で初めて発掘調査が行われた場所でした。

この記念すべき発掘調査を記録したガラス乾板をこの度展示いたします。写された画像は、考古学における記録保存の重要性を語りかけるものばかりです。当時の発掘調査に思いを馳せながら、当時のカメラにも触れてみませんか。



発掘調査で使用していたフィルムカメラ 岡山理科大



【公共交通機関】

JR 倉敷駅より徒歩 15 分

水島臨海鉄道倉敷駅より徒歩 15 分

【自家用車】

山陽自動車道 倉敷 IC 約 20 分

瀬戸中央自動車道 早島 IC 約 20 分

〒710-0046 倉敷市中央 1-3-13 公益財団法人大原芸術財団 大原芸術研究所・倉敷考古館

TEL086-422-1542、FAX086-441-1509

<https://www.kurashikikoukan.com/>

※ 2024 年 4 月 1 日より、公益財団法人倉敷考古館は公益財団法人大原美術館と合併し、公益財団法人大原芸術財団となりました。